

第3回大山街道アクションフォーラム でデザイン集の案を紹介しました

昨年12月13日に行われた第3回大山街道アクションフォーラムでは、これまでの大山街道での景観形成の取り組みの経緯やおすすめデザイン集の案を紹介し、意見交換の場を設けました。

沿道や地域の住民の方など、自由に参加していただいた多くの方にデザイン集の検討を知っていただくことができました。



第4回大山街道アクションフォーラム では「おすすめデザイン集」の最終案 をご紹介します。

3月7日
(日)

第4回大山街道アクションフォーラムは、マスタープラン推進の1年間の取り組みのまとめと今後の活動について話し合う場です。この中で、大山街道景観形成協議会からは「おすすめデザイン集」の最終案のご紹介を行う予定ですので、ぜひ足をお運びください。

【日時】平成22年3月7日(日) 午後2時から
【場所】大山街道ふるさと館



大山街道沿道の土地・建物所有者及び住民の皆様へ

平成22年2月



大山街道景観形成協議会
川崎市 まちづくり局計画部
景観・まちづくり支援課
TEL: 044-200-3022
FAX: 044-200-0984

大山街道のおすすめデザイン集の 検討の状況をお知らせします

大山街道のおすすめデザイン集は、平成20年度に策定された大山街道マスタープランの検討の中で出された大山街道らしい街なみづくりについての地域の意見を踏まえ、昨年の8月から検討を行っています。

大山街道景観形成協議会^{*1}に専門委員会を設置し、アンケートの実施や大山街道アクションフォーラム(第3回)での意見交換などを行いながら、地域住民、専門家、行政による検討を進めています。

このお知らせでは、現在の検討の状況をご紹介します。

大山街道景観形成協議会

専門委員会の立ち上げと内容の検討 (これまで4回開催)

おすすめデザイン集の内容を具体的に検討するために、景観形成協議会に専門委員会を設置し、地域住民、専門家や行政職員による検討を進めています。



アンケートの実施とお知らせ(ニュース)の配布

全戸配布のアンケートやお知らせ(ニュース)などにより地域住民の方に検討の状況をお知らせしたり、意見を伺ったりしながら、検討を進めています。



第3回大山街道アクションフォーラム^{*2}での検討

昨年12月13日に行われた第3回大山街道アクションフォーラムで、おすすめデザイン集の案を紹介し、参加した地域住民の方と意見交換を行いました。



おすすめデザイン集の配布(3月を予定)

第4回大山街道アクションフォーラム^{*2}では最終案をご紹介します。

^{*1}：大山街道景観形成協議会は、大山街道の都市景観の推進のために地域住民等により作られた協議会です。
^{*2}：アクションフォーラムは、高津大山街道マスタープランの実現に向けて地域の方々や団体、行政が集い連携し、様々な取り組みを行うための誰でも自由に参加できる場です。

アンケートの結果をご紹介します

昨年の10月に、大山街道沿道に土地や建物をお持ちの方全員を対象にアンケートを実施しました。ここでは、その結果をご紹介します。(回答数 17) ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



1. 大山街道景観形成地区について (単数回答)

大山街道沿道が、都市景観形成地区に指定されていることを「知っている」方は47%、「聞いたことはあるが、詳しく知らない」方は12%、「知らなかった」方は41%でした。今後とも、各戸に景観形成地区のパンフレットを配布するなど、周知に務めてまいります。

2. これからの大山街道の街なみ形成の考え方について (複数回答)

これからの街なみづくりにおいて、特に大切にしたいこととしては、これまでも取り組んできた「安全に歩ける歩行空間の確保」が76%と最も多くの回答をいただきました。ついで「緑豊かな街なみ形成 (53%)」、「人のスケールに合った街なみの形成 (41%)」、「良好な都市環境の形成 (41%)」といずれも多くの回答をいただきました。おすすめデザイン集においても、これらのキーワードを反映していこうと考えています。

3. 「大山街道らしい街なみ」について (単数回答)

「大山街道らしい街なみ」については「"現代的な魅力"と歴史性からくる"和の心"の両面からつくられるもの」であると感じている方が70%と最も多い結果となりました。おすすめデザイン集においても、現代的な街なみの魅力を高めながら、その中、かつての歴史的な街道における街なみづくりの精神(和の心)をうまく取り入れることにより、魅力的な街なみづくりを目指したいと考えています。

4. おすすめデザイン集の内容について (複数回答)

おすすめデザイン集の内容で特に大切だという意見が多かったのは、「落ち着いた色彩を用いる (65%)」と「緑豊かな街なみをつくる (65%)」でした。おすすめデザイン集においても、色彩や緑についての内容を取り入れていこうと考えています。

5. そのほかの自由意見について

そのほかの自由意見としては、歩きやすさや賑わいづくりなど、大山街道のまちづくり全体に関する様々なご意見をいただきました。今後の大山街道景観形成協議会の取り組みの参考にしたり、高津大山街道マスタープランの推進において取り組んでいただけるよう働きかけていきたいと思っております。

デザイン集による街なみのイメージについて、現在、検討している内容をご紹介します

大山街道では、現代的な街なみの魅力を高めながら、その中、かつての歴史的な街道における街なみづくりの精神(和の心)を取り入れることにより、魅力的な街なみを目指したいと考えています。

バルコニーを建物のフレームの中に組み込んで一体化することにより、外壁を整えることができます。

マンションや事務所等の現代建築でも、高さの間口を分節化することにより、宿場町のような人のスケール感にあった秩序ある街なみをつくることができます。

伝統工法の軸組をイメージしたフレームの強調や、ベランダや開口部からプライベート空間を隠すための細かなたて棧の手すり・格子の設置により、和の知恵を活かした秩序ある街なみをつくることができます。

ショーウィンドウなどにより1階はもてなしと賑わいのしつらえとすると、効果的です。



軒を設けると、人のスケール感に合った秩序をつくることができます。

街道に面して小さな緑の空間をつくると効果的です。

垂幕やのれんを設置すると、和の知恵を活かした賑わいづくりを行うことができます。



3階以上は明るく軽快な色彩デザインで空に溶け込ませます。

高さの間口の分節化による宿場町のような人のスケール感にあった街なみの創出

フレームの強調や、細かなたて棧の手すり・格子を用いた開口部の工夫による和の知恵を活かした秩序ある街なみのデザイン

和の素材を想起する色彩による落ち着いたデザイン

街道に面した積極的な緑化

1階部分のもてなしの空間づくり

街なみは2階までの外観でつくりたい。